

# 討論

## —こんな理由で賛成・反対しました—

6月25日の定例会最終日、各議員から活発な討論が行われました。討論とは、採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。概要は次のとおりです。

### 令和2年度一般会計補正予算（第3号）

健康増進施設整備事業3,808万6,000円は、駐車場の消雪設備を整備するものであるが、工事費は全額市の負担であり、事業者の負担はない。

その一方で、報告された利用料は大幅な負担を強いるものである。現在のクアハウス九谷の会員料金は年間46,200円（月3,850円）で、トレーニングルームも利用できて、さらには家族割引もあり、子どもたちも大いに集え、健康づくりと憩いの場となっている。

今後、現クアハウス九谷の会員は健康スパ会員に移行となるが、月額6,050円（市民は1,000円引きの5,050円）へと大幅な引き上げとなる上に、ジムやスタジオを利用するには1回550円の上乗せが必要となる。

フィットネス会員は、月額9,350円で年間11万2,200円となり、現利用者は「今までのように夫婦ではとても利用できない」と言っていた。

健康増進施設へは、今回の駐車場整備費含め9億円を超える多額の税金を投入しており、また、民営化によって利用料金等の負担が大きくなることから、これに反対する。

## 反対

近藤 啓子  
議員  
(日本共産党)

## 賛成

山下 毅  
議員  
(市民の声)

新型コロナウイルス感染症対策の強化として、「安全安心対策」「家計対策」「経済対策」の3本の柱を中心とした予算であり、マスクや防護服の整備、学校再開後の小学校1年生を対象に算数を中心とした授業の支援、ひとり親家庭等への追加支援、3密を回避するための衛生対策や感染予防に取り組む事業者への支援や、売上が減少している市内施設・店舗での消費喚起と家計応援を図るための特典券の配布など多岐にわたるものである。

また、新型コロナウイルス感染症対策以外のものとして、「子育て・住環境の充実」「交流人口の拡大」「教育力の向上」「安全安心のまちづくり」にかかる事業があげられている。いずれの予算も時宜にかなった事業内容であり、本定例会に上程されたすべての議案に賛同するものである。

## 請願

### 石川県における精神障害者医療費助成についての請願を採択

精神障害者は障害者の認定を受けながらも、医療費助成の点では身体障害者や知的障害者から大きく遅れをとっており、多くの精神障害者は経済的に困窮し、通院・入院の医療費の自己負担に苦しんでいるのが現状です。これを受けて、精神障害者が他の障害者と同等の医療を受けることができる制度を求める請願が石川県議会に提出され、令和元年12月の定例会において満場一致で採択されました。そして、医療費助成事業の実施主体である市町にも同様の請願が提出され、能美市議会においては、令和2年第2回定例会の最終日に全会一致で採択し、同請願は能美市議会議長名にて能美市長に提出されました。

### 賛否が分かれた議案

○=賛成、●=反対、議長は採決に加わりません。

議案名	山下 毅	卯野 修三	佐伯 富美子	北村 周士	仙台 謙三	山本 悟	田中 大佐久	田中 策次郎	開道 昌信	嵐 昭夫	南山 修一	居村 清二	倉元 正順	米田 敏勝	東 正幸	近藤 啓子	杉田 隆一
令和2年度能美市一般会計補正予算（第3号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
専決処分の報告について (能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

このほかの議案などの審議結果は、能美市議会のホームページをご覧ください。